



若 草

令和7年度 9月号 R7.8.27

「強み」と「弱み」

校長 高木 宏康

夏休みも終わり、今日から2学期が始まりました。2学期も、「自分らしくともに輝く子」を目指して頑張っていきます。今日はその「自分らしさ」にかかわる「自分の強みと弱み」についてお話をします。

まず「自分の強み」についてです。強みとは「目標達成のために役に立つ力」のことです。1学期に「自分の得意技」について報告してもらいましたが、得意技も役に立たなければ「強み」にはならないのです。例えば「走るのが速い」という得意技をもっている場合、サッカーや野球等をする時は「強み」になりますが、国語や算数の時間には、その得意技は「強み」にはなりません。ここで一つ分かることは、自分らしく輝くためには、「自分の強みが生かせるところで頑張る」ということです。

次に「自分の弱み」についてです。「弱み」とは「強み」の反対の意味なので、「目標達成のために邪魔になるもの」ということになります。得意技の反対語は「苦手なこと」ですが、「苦手なこと」も邪魔にならないければ「弱み」にはならないのです。例えば「走るのが苦手」という場合、サッカーや野球をする時は「弱み」になりますが、国語や算数の時間では、その苦手なことは「弱み」にはなりません。だから、弱みにならない「苦手なことは気にすることはない」ということです。ところが、国語や算数等の学習で「弱み」になってしまうこと、心当たりありませんか？例えば、「めんどくさがり」「飽きっぽい」「恥ずかしがり」等、これらは学習を進める時には「弱み」になってしまいます。人間誰でも「苦手なこと」はあるので、それが「弱み」になってしまうのは仕方のないことです。でも、「弱み」は自分の成長を邪魔するものになってしまうので、放っておくことはできません。ではこの「人間誰でも弱みをもっている問題」に対して、私たちは何をすればよいのでしょうか？私が調べたり、考えたりしてつくった対策を紹介します。

1) 自分の弱みを正確に知る

何が「弱み」なのか、どうして「弱み」になっているのか、自分の事をよく考えてみます。その時大切なのは、「自分はダメだ。」と思わないことです。自分の弱みも自分の事として受け止めます。自分の弱みが分かることで、次の対策が始められます。

2) 目標を立てて「弱み」を少しずつ直す

弱みとなっていることも、繰り返し練習することで少しずつ直ることがあります。無理はしないで、自分なりの目標を立ててゆっくりじっくり取り組めば、必ず良くなっていきます。自分の事を信じて、弱みを直す努力をしてみましょう。

3) 友達や先生に協力してもらう

弱みがもとで困っている時は、友達や先生に助けてもらうことも良い方法です。強みと弱みは人によって違います。自分の弱みが出ているところは助けてもらって、自分の強みが出せるところでは、今度は困っている友達を助けてあげてください。

4) 「弱み」を「強み」に変える

「弱み」だと思っているところも、見方・考え方を変えると「強み」になることがあります。例えば「やることが遅い」と「弱み」に感じていたとしても、実は「やることが丁寧」なのかもしれません。丁寧であることは間違いを減らしたり、仕上がりを良くしたりできるので立派な「強み」です。時間がかかってしまうという問題に対しては、友達に手伝ってもらったり、先生に相談したりすればいいのです。自分の弱みを知ることから始まるよと伝えましたが、「本当に弱みなのかな。」と一度疑ってみるのもいいかもしれません。

2学期は、自分の「強みと弱み」を意識して生活してください。そして、自分の「強み」を見つけていろいろなところで生かし、「弱み」にも勇気をもって立ち向かって欲しいと思います。

今は「暑い、暑い。」と言っていますが、これが「寒い、寒い。」と言うようになるまで2学期は続きます。10月には運動会があり、いつもの学習や活動でも、盛り上がる場面が多くあると思います。それぞれの活動を楽しみながら、元気に楽しく、そして優しく過ごせるよう、みんなで力を合わせていきましょう。

(2学期始業式 校長の話)

お知らせ

○登下校時の帽子着用とヘルメットについて

熱中症対策のため、9月末までは帽子での登校を認めています。その際、校内での災害時に頭を緊急的に守ることができるように、ヘルメットを学校に据え置くようお願いしています。御家庭で自転車に乗る等、日常的にヘルメットを使用したい場合は、ヘルメットの代わりに防災頭巾を学校に置いておいても構いません。記名をして学校に持たせてください。

○年間計画・行事予定について

令和7年度の年間計画・行事予定は、芳川北小学校のホームページに掲載されています。ホームページの「学校づくり」の画面から「特色ある活動」を開いていただくと、確認できるようになっています。